

スマスイ自然環境保全助成制度

在来の淡水性カメ類保全のための活動と研究

【和亀保護の会】

外 来種であるミシシippアカミガメは日本国内ではメスの割合が高い。このカメの性別は卵の時の地温で決まるため、メスが多い理由も地温によるものかどうが大正川、寺田池、峠池、鴻池の4地点で確認した。測定結果ではメスの割合が予想をはるかに上回った。今後さらに増殖していきだろウミシippアカミガメの駆除のために、地域住民や行政と協働して少ない予算と手間で作業できる日光浴用の開発を行った。今後行政が製作キットを作り、ため池協議会などに配布して駆除を進めていく。



高知県室戸岬沖で捕獲される生物の実態調査

【NPO法人 漁師のNPO】

高 知県室戸岬周辺には大型の定置網が設置されており、魚類、鯨類、ウミガメ類など多種多様な生物が水揚げされる。水揚げされた中には商品とならないため投棄される魚(投棄魚)もあり、これを記録した。2014年4月から2015年3月の間の投棄魚は21目62科84種であった。そのうち商品サイズ以下のため投棄されていたのが5目13科18種、商品価値の低い魚種は19目52科66種であった。また、特記事項として4月21日~25日の5日間で3目4科4種379匹の深海魚の大量混獲があった。



←ホテイエソ

瀬戸内海における空から見た自然環境の記録

【NPO法人 空から自然を考える会】

2 011年8月9日に燃えた石島のその後の観察と記録、2014年12月13日に香川県荘内半島周辺海域の上空からの観察を行った。石島の観察では、焼けている部分、焼けずに残っている部分を明確に確認し、記録に残した。焼けてしまった部分の再生はかなり難しらしく、植林をしていかないと自力での再生は困難ではと予測される。庄内半島周辺では、東西方向に調査ラインを設定し、海面の観察を行った。今年度はスナメリをはじめ、生物を発見することはできなかった。また、今年度はスマスイにおいて写真パネル展を開催した。



ワレカラの集団構造と分類に関する研究

【兵庫県立尼崎小田高等学校】

兵 庫運河の浮き桟橋で採集したトゲワレカラ“C.scaura”には形態的な特徴から3つの亜種が見られた。ミトコンドリアDNAや核DNAを解析したところ、3つの亜種は遺伝的に同じグループに属することが、さらに亜種間で相互に交雑していることが示唆された。今回の遺伝子解析による結果を基に、有効な分類形質を探すことに専念する。その他、アカウミガメの背甲に特異的に生息するワレカラ“C.andreae”や全国に広く分布するウミワレカラについても採集と解析を行った。また、スマスイにおいてワレカラの企画展を開催した。



瀬戸内海の海岸植物

【廣瀬重夫】

1 994年から兵庫県下の海岸植物調査を開始し、地域別に出現種を一覧表にしてきた。2014年には西播千種川河口と明石海岸での調査を行い、これまでの資料と合わせて整理し、近畿・瀬戸内の海辺の植物として、三重県から福岡県までの瀬戸内海およびその周辺地域に加え、日本海の海岸の状況と植生をまとめた。本調査により、海岸の植物相は地域によって出現するものや優占するものに違いがあり、今後もその地の環境にあった植生が残るためには、海辺への人の介入をできるだけ抑える必要があると示唆した。



←千種川河口

←明石市谷山川河口

備讃瀬戸海域のスナメリ生息状況調査

【牛窓のスナメリを見守る会】

岡 山県瀬戸内市牛窓の西側に広がる備讃瀬戸海域において、小型鯨類スナメリの生息状況を調査した。笠岡諸島では10回の調査で4群5頭、小豆島西部では9回の調査で3群7頭、本島周辺では6回調査したが発見はなかった。この結果はヒヤリング調査や2000年に実施されたセスナ機による目視調査(Kasuya2003)の結果とも一致する。調査結果から季節的な変動について明示的な情報は見受けられず、隣接する牛窓周辺海域で集積した情報にも照らし合わせると、季節による活動範囲は変動していないものと推測される。



海の植林(藻場再生)による生物多様性変化の調査・研究

【一般社団法人 海っ子の森】

磯 焼けが広がる三重県南部において、アラメやカジメなどの植林(海の森づくり)を行ってきた。定着率は年々減少し、3年前から魚やガンガゼなどの食害によって全滅し始めたため、今回、植林周辺の環境を観察し問題を探ることとした。4、5、6、11月に潜水調査を実施したところ、6月までは植林苗も育ち、周辺には魚類や藻類が増え、生物豊かな風景が見られたものの、11月になると食害により植林苗は全数が枯死。環境ごとに残存する藻類もあったものの、殺風景な景色になってしまった。今後も引き続き観察を継続する。



オオサンショウウオの繁殖生態とニホンイシガメの生息調査

【NPO法人 日本ハンザキ研究所】

今 年度は40個体(6個体新規、34個体再捕)延べ46個体のオオサンショウウオが捕獲された。繁殖は4カ所で確認され、2012~2013年に繁殖が確認された8カ所の巣穴のうち4カ所が崩落などで消失した。また、黒川ダム直下において初めて産卵が確認(2012年10月25日)されたが、これはオオサンショウウオの産卵日として最も遅い記録である。イシガメについては、7個体中2個体が再捕個体で、1個体はほぼ同じ場所、もう1個体は放逐場所から約3.5km上流で発見された。



私たちの身の周りには、実に多くの生きものが暮らしています。しかし、今ある自然を残し、守っていくためには、現状を記録しておくことが必要です。そこで、須磨海浜水族園では、身近にいる水生生物や生物の多様性について地域で調査・研究に取り組んでいる個人や団体を応援しています。それがこの助成制度です。今回は、2014年度に実施した12件の活動について紹介します。

岡山県内のため池に生息する外来種を調査し、在来種の保護に帰す

【岡山ため池外来種調査会】

岡 山県を南北に流れる旭川沿いのため池9カ所と河川2カ所を、淡水ガメを中心に生息調査を2014年9月5日、6日に行った。亀罫は42個仕掛け、淡水ガメを合計65匹捕獲した。その内訳は、外来種ではアカミミガメが5匹(7%)、クサガメが59匹(91%)、在来種ではイシガメが1匹(2%)であった。またアナゴ網も仕掛けており、外来種ではブルーギル、アメリカザリガニ、ウシガエル(幼生)の5種を、在来種ではドンコ、カワムツ、タモロコ、フナ、モクスガニ、スジエビ、ヌマガエル、タゴガエルの8種を捕獲した。

神戸市須磨旧市街地陸水域生物の保全

【須磨・ふるさと生きものサポーター】

神 戸市須磨区旧市街地を我らのふるさととして捉え、旧市街地における生きものの保全を地元の方々と進めている。離宮公園新池のアメリカザリガニ駆除数は22尾に止まり、年々減少している。須磨寺クサガメ池は1周年を迎え、須磨寺亀の会を創出し地元管理体制を整えた。北須磨小学校カメさん池では神戸市産ニホンイシガメを26匹繁殖させた。須磨産カワバタモロコの北須磨小学校実験プールでは、3年前の109尾から34尾と減った。須磨寺不動の池では多数の当歳稚魚を確認した。旧前田邸のカキツバタ復活のため、10月にカキツバタを植える会を行った。



豊かな自然環境が残る都市河川 福田川水系の生物多様性確保の取り組み

【福田川クリーンクラブ】

神 戸市垂水区の福田川流域の生態系を調べるため、今年度は源流の落合池と下流の瑞穂公園付近で調査を行った。6月1日の落合池では、池の淵には1メートル以上のヘドロが堆積していたものの、東北側の小池付近にはギンブナ、メダカ、シマヒレヨシノボリ、モクスガニ、サカマキガイ、タコノアシ、ヒマガマ、ヒメジュオン等の動植物の生息を確認した。瑞穂公園付近では9月28日午後調査をし、クロホシマンジュウダイ、ボラ、ウナギ、クロメダカ、スジエビ、ミナミヌマエビ、テナガエビ、サカマキガイの生息を確認した。



須磨区堂谷池・小松池におけるミシシippアカミミガメの防除と生物調査

【レッドイヤースライダーズ】

2 011年よりアカミミガメの駆除を行っている神戸市須磨区の堂谷池と小松池で2014年4~11月に淡水カメ調査と生物相調査を行った。堂谷池では3目7科7属7種が捕獲され、4種は外来種であった。2011年以降アカミミガメのCPT(生息密度の指標)が減少するのに対し、ブルーギルとモクスガニのCPTは年々上昇傾向にあった。小松池では6目11科16属16種が捕獲され、そのうち8種が外来種。2011年以降アカミミガメのCPTは2013年を除いて0.5以下の低い値であった。アメリカザリガニのCPTは徐々に上昇し、モクスガニのCPTは減少した。今後の動向も注視していく。

2015年度 スマスイ自然環境保全助成研究一覧

2015年度は10件の研究が助成対象に選ばれ、現在、調査・研究活動中です。この助成制度は今後も継続する予定です(1回/年事業)。われこそは!と思う方・団体がいらっしゃいましたら、ぜひご応募ください。2016年度のご応募をお待ちしています。

	助成対象個人・団体名	研究課題
1	鈴木大	寺院の池に生息する淡水性カメ相における外来種防除研究
2	岡山ため池外来種調査会	岡山県、吉井川流域のため池のカメ相の調査
3	NPO法人 日本ハンザキ研究所	オオサンショウウオの繁殖生態とニホンイシガメの生息調査
4	NPO法人 空から自然を考える会	瀬戸内海における空から見た自然環境の記録
5	びわ湖サテライトエリア研究会	滋賀県湖北平野での魚類の15年間の増減傾向とモデル魚(コイ科・カマツカ)の水路利用パターンの解明
6	谷 良夫・阪口正樹	各季節における大阪湾各海域に生息するワレカラ類のリストの作成と遺伝的手法による解析
7	きしわだ自然友の会	大阪湾における外来種ウミウシとそれらを取り巻く生物相の解明
8	須磨・ふるさと生きものサポーター	須磨旧市街地陸水域の保全
9	福田川クリーンクラブ	豊かな自然環境が残る都市河川福田川水系の生物多様性確保の取り組み
10	レッドイヤースライダーズ	須磨区堂谷池・小松池における外来生物駆除とモニタリング